

over 60 原発作業隊

行動隊81人 応援隊384人

1号機タービン建屋内で6日、換気装置を設置中とみられる作業員(東京電力提供、AP)



原子炉建屋に作業員入る
東京電力の福島第一原発1号機で9日午前4時20分ごろ、二重扉を開放した1号機の原子炉建屋に東京電力の作業員7人と経済産業省原子力安全・保安院の職員2人が入り、放射線量を測定した。これにより原子炉建屋内での有人作業の本格化への扉も開いたが、今後は危険な現場に続々と作業員が入っていくことになる。作業員の被ばくや疲労、人数の不足などが懸念される中、民間有志による「シニール志願隊」が結成されてきた。

福島を救え

東電によると、二重扉の開放後、原発敷地内9か所の観測地点で放射線量は上昇していない。原子炉建屋内で有人作業ができる線量であることが確認されれば、原子炉の

出動目前

西成日雇い労働者だまされ原発作業

シニアボランティア作業員の案に前向きな細野氏

日雇い労働者をだまし、大阪市西成区のあるいりん地区で、東日本大震災後「宮城県でダンプの運転手として働ける者」との求人に応募した男性労働者から「福島第一原発で働かされた。話が違ふ」と財団法人「西成労働福祉センター」に相談が寄せられていた。センターの調査に対

「西成日雇い労働者だまされ原発作業」
ダンプ運転のほが...聞いてないよ
し、求人を出した業者側は男性が原発敷地内で作業していたことを認め、大阪労働局も事実関係の確認を始めた。支援団体は「立場の弱い日雇い労働者を危険な場所に送り込む行為が許されない」と反発している。

関係者によると、センターが3月17日頃、業者からの依頼をもとに「宮

態が発覚した。東京電力によると、原発敷地内では同社の社員以外に協力会社の労働者ががれき撤去や電線敷設などの作業をするケースがある。労働者を支援するNPO法人釜ヶ崎支援機構は「初めから原発と言っただけで、うそをついて連れていったと認められない。満足な保証もない労働者を使い捨てるようなまねはしないでほしい」と話した。



山田氏は「子供や将来のある下請けや孫請けの若い作業員を危険にさらすわけにいかない。放射線の高濃度を募る「福島原発 暴発阻止行動」の心配がない、経験のある元技術者の高齢者が作業すべき」と考え、プロシエクトを発足。民主党の大物議員を介して、政府筋にも知らせていた。

福島市 福島県は8日、福島市の下水処理場などの汚泥から高濃度のセシウムを検出したと発表した。県は降雨で地表の放射性物質が混入したとみて、2日から4日にかけて調査した19施設すべてで汚泥の搬出を停止し、それ以前の搬出先を追跡調査している。

因とみられる」と説明。周辺の空間線量の調査結果から「敷地外への放射性物質の拡散はうかがえない」としている。

冷却システム回復に向けた作業が本格化する。5日には換気装置を設置するため13人の作業員が1号機の原子炉建屋内に入ったが、今後はさらに大人数の立ち入りが可能になる。事故収束に向けた作業は長期戦が見込まれており、作業員の確保も重要課題。それに関連して、8日開かれた事故統合本部の記者会見で首相補佐官の細野豪志本部事務局長(39)は、インターネット上などで話題になっているシニアボランティア作業員の採用に前向きな姿勢を見せ

保も重要課題。それに関連して、8日開かれた事故統合本部の記者会見で首相補佐官の細野豪志本部事務局長(39)は、インターネット上などで話題になっているシニアボランティア作業員の採用に前向きな姿勢を見せ

8日時点で、発電所で働いていた技術者や大学教授などにも輪が広がっており、作業を行う行動隊「384人」が集まっているという。会見で細野氏は「山田さんのプロジェクトのごとは聞いている。ありがたい提案。シニアの人が活躍できるような問いかけている。どういう方法があるか考える必要がある」とコメント。これを受け山田氏は「いよいよ動きだしたか、という感じ。細野さんに伝えたのはうれしい。一日も早く現場に行きたい」と話した。(河部信貴)

「猛毒ユッケ」を出した「焼肉酒家えびす」を運営する「フーズ・フォーラス」(石川県金沢市)社長の勘坂康弘氏(42)の土下座は、やはり演技だった。地元で同業者などから話を聞くと、この社長の「ブレイク」の評判が出るわ出るわ。同県で飲食店を経営する男性は「勘坂に近い人間は『会見は演技だ』と言っていた。逆ギレ謝罪した次の日に土下座していたけど、弁護士から『あの強気な物言いは良くない』と説得されて、土下座したそうだと指摘する。この男性は「勘

ユッケ社長

